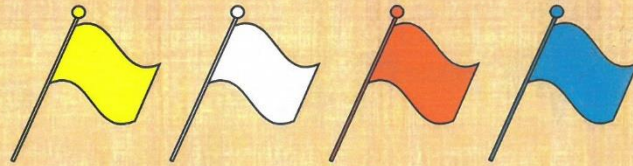




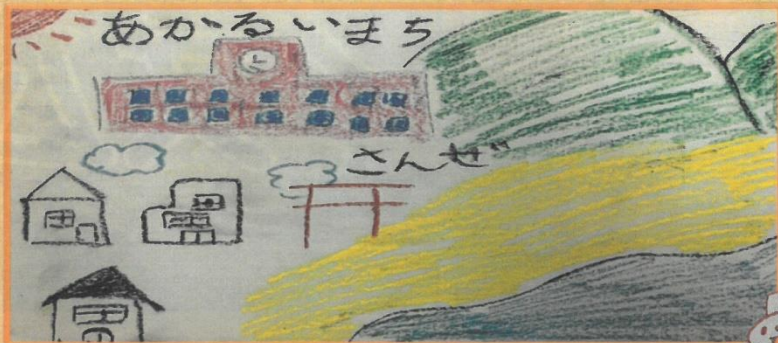
住むを楽しむコミュニティ



鶴岡市三瀬地区自治会

ビジョンの柱・目指す姿

みんなで元気を生み出し 発信するまち三瀬



行動指針・取り組み目標

三瀬ファン

地域を学び、その魅力をPRし、
三瀬ファンや移住者を増やそう



つながり

イベントに参加し、人と人のつながりを深めよう

健康

健康管理に努め、健康になろう

具体的な活動内容



みんなが名刺代わりに
三瀬のパンフを配る

多くの人に三瀬ファンに
なってもらおう



三瀬を知って好きに
なってPR大使になる!

三瀬のすばらしいところを
地域外の人に伝えよう

三瀬の中を極力歩く!

散策しながら地域を知ろう、
健康にもなれる



人と年代と任期を考慮し
て後継者育成に取り組む
(自治会と地区会)

年間スケジュールを見える
化する(情報の共有と
周知方法を考える)

三瀬散歩コースを設定する

(まち中アスファルトコース2.5km、
てくてくウォーク5km、三瀬一周
7km、もっとぐるっと10kmなど)

三瀬の美味しいお土産
(米や農産物)を地域外に
持っていく

(お土産開発や各種団体の協力を得る)

ビジョンの柱・目指す姿

みんなで作る安心のまち三瀬



行動指針・取り組み目標

見守り

思いやりの心を持ってまわりに目をくばり
生活の安全・安心を確保しよう

防災

防災訓練に参加するとともに、
避難用品を備えて防災意識を高めよう

安心

自主防災組織や消防団の連携、
三瀬の仕組みを考えよう

具体的な活動内容



マイ防災カードをつくり、
家庭の防災チェックを
月1回行う

「弱みや不安を見せてもいいよ」
の雰囲気をつくる

「最近どう?」「大丈夫?」の声を掛け
合うなど身近なところから



避難状況を把握できるような
表示方法を定める

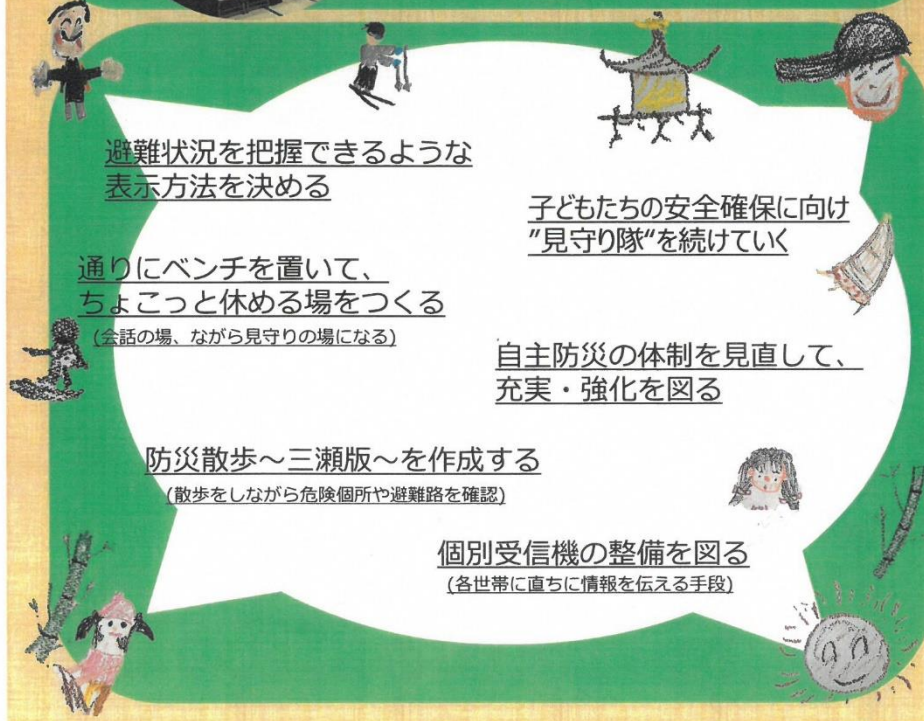
子どもたちの安全確保に向け
"見守り隊"を続けていく

通りにベンチを置いて、
ちょこっと休める場をつくる
(会話の場、ながら見守りの場になる)

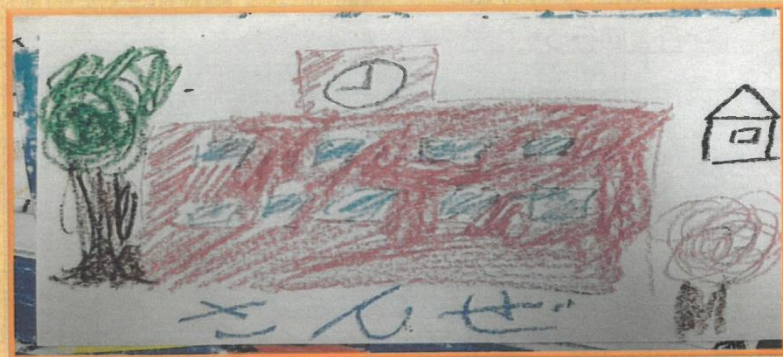
自主防災の体制を見直して、
充実・強化を図る

防災散歩～三瀬版～を作成する
(散歩をしながら危険箇所や避難路を確認)

個別受信機の整備を図る
(各世帯に直ちに情報を伝える手段)



みんなで支え合う 住みよいまち三瀬



行動指針・取り組み目標

隣組

つながりを大切に、助け合える機能を見直し、
地域ぐるみで支え合おう

空き家

空き家の活用に協力しよう

生活

生活ニーズに対応するために
コミュニティビジネス等の取組を検討しよう

具体的な活動内容



自分の土地や建物の活用

市民農園などのように
遊休耕地の活用、空き
家の活用



隣の人を知り、見守り、
声を掛け合う



買物支援の仕組みを考える

(ニーズ調査、方法、報酬など)

空き家の状況を把握し、
「空き家マップ」を作成する

空き家対策プロジェクト
チームを立ち上げる



学童保育所などの子育て
環境整備に取り組む

空き家に核家族を呼び
込む方法を検討する



空き家を祭典の頭屋と
して活用する





三瀬地区地域ビジョン

少子高齢化、空き家の増加、店舗等の撤退、そして地域の担い手不足など生活環境が変化しています。環境の変化に負けず、5年先、10年先も安心・安全で、明るく心豊かに暮らせる三瀬地区であり続けるために、三瀬地区の目指す姿とその実現に向けた取組みの指針である「地域ビジョン」を策定しました。

今後、ビジョンに掲げた目標を達成に向けて、組織や団体と連携しながら、地域を挙げて取組んでいくことが大切です。

三瀬イズム 住むを楽しむコミュニティ

三瀬に住む人たちが、自然・歴史・人など、三瀬のすべてを大切に思い生活する中で、困難なこともみんなで相談し立ち向かう。そうして、三瀬で暮らすことを楽しむ、“心豊かに暮らす”人たちが住む地域を目指します。

*三瀬イズム：三瀬に住む人の気持ちの持ち方



挿絵協力：豊浦放課後子ども教室の児童たち